

## 2025 年度大学院博士前期課程試験問題(第 1 回)

2024 年 07 月 13 日実施 [環境計画分野(配点 50 点)]

以下 1、2、3 の問いに答えなさい。

(解答用紙は、それぞれの設問に対して、必ず 1 枚ずつ使用すること。裏面まで使ってもよい)

1. 下記の 3 つのタームについてそれぞれ 100 字程度で簡単に説明しなさい。

(配点 15 点)

### 1) 生物多様性地域戦略

生物多様性地域戦略について、簡潔に説明し、地方自治体での事例について説明する

- ・生態系の健全性の回復
- ・自然を活用した社会課題の解決 についての解答が求められる

### 2) 環境基本計画

環境基本計画がつけられた経緯、国、地方自治体の計画における重要性について説明する

- ・環境基本法
- ・環境の保全と創造に関する施策
- ・地方公共団体や事業者、国民などの取り組み についての解答が求められる

### 3) グリーンインフラ

グリーンインフラの言葉の意味について説明し、世界と日本で進められている事例について説明する。

- ・自然環境の機能
- ・持続可能な国土や地域づくり
- ・社会資本整備手法 についての解答が求められる

2. 「都市におけるビオトープ保全の意義」について 200 字程度で簡潔に論述しなさい。

(配点 15 点)

- ・ 概論的にビオトープとは何か説明
- ・ その上で、都市においてビオトープを保全することの意義について説明
- ・ ビオトープの連結やネットワーク、形状、質の重要性について説明

上記を正確にかつ網羅的に説明することが求められる

3. 日本の風土に合った自然再生、環境計画・設計のあり方について 400 字程度で論述しなさい。

(配点 20 点)

- ・ 風土とは何か説明 (和辻哲郎の言説や日本における風土の考え方)
- ・ 風土について考えられた計画や設計のあり方について
- ・ 日本の歴史や風土を考えて設計された公園緑地の設計、地域計画の具体的な事例について

上記を正確にかつ網羅的に説明することが求められる